

コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

育成する人物像

自己実現に向けて自らを切り拓く子供を育てる教育を求め、自律的に学び続ける教員

教育目標

教育することの意義を自覚し、児童の成長発達を見通して指導できる力を身につけ、人間理解の上に立って資質・能力を高め続ける教育人を育成します。

コア・カリキュラムとそれを構成する科目

入学前の学習支援プログラム

入学前から、教員としての基礎的知識の復習、ものの見方・考え方を深め、学校教育への関心を高めること等、入学後の円滑な学修への支援をしていきます。

その内容は教職入門講座や国語、社会、などの各教科を、自分の興味・関心、得意・不得意等に合わせて課題学修を行い、添削指導によって、学びの深まりを確認していきます。

コア・カリキュラムについて

確かな教育観・教師観を持って教育を創造していく力を養っていくために、「教師論」を初め、図に示した8つの科目を核として構成されたカリキュラムによって確実な知識と人間性・教育実践力を高めていきます。

教育をすることの意義を理解、自覚すること、学校での具体実践からの学びを自身の指導方法に活かすこと、理論と実践を往還させながら、自律的に学びを深め続け、「指導方法の創造」を求め、高め続けていく力を培っていきます。

コア・カリキュラムと指導目標・評価について

授業科目：教育課程論
開講学年：2年後期
学修内容と達成目標

Behavior Contents	A知識	B理解	C応用 (分析・評価)	達成目標
9. 学校の年間指導計画1～概要～	学校教育計画の内容を読み解き、地域の特性を活かした教育課程があり、その内容を理解する。	地域の特性を活かして理解するために、学校教育計画の内容を読み解き、説明することができる。	教育課程への理解に基づき、自分なりの学校教育計画を立案することができる。	学校教育計画の役割や内容、地域の特性が活かされているものであることを理解し、それを説明でき、自分なりの学校教育計画を立案することができる。

履修前後の学習内容評価の達成状況 (学生による自己評価)

授業科目：教育課程論
開講学年：2年後期
達成レベル：1 説明できない、分からない
2 資料等を読みながら説明できる
3 資料等も見ながら、自分の考えや意見を交えて説明できる。
4 資料等を見なくてもだいたい説明できる

評価項目：

- 学校教育計画
 - 5-1. 学校には教育課程を示す、学校教育計画があることを知り、どのようなものか説明できる
 - 5-2. 学校教育計画は学校により特色があることを説明できる
 - 5-3. 自分なりの学校教育計画(学校目標と柱のみ)を立案することができる

教育理論の体系的な習得

教職の意義、教師の役割などの理解
教育の意義・本質・機能、基礎理論の理解

- 科目：①教師論
②教育原理



教職リサーチ・学校体験

「学校体験」を1年次から段階を踏んで行い実践力に結び付ける活動。自己評価によって教育実践力を蓄積します。

教育の方法・技術の習得

学校教育と教育課程の理解
各教科の教育の方法、教育技術の習得

- 科目：③教育課程論
④教育の方法・技術
⑤初等教科教育法
⑥道徳教育の研究

自己実現に向けて自らを切り拓く子供を育てる教育を求め自律的に学び続ける教員の育成

学校現場等における段階的な体験実習

- ・学校現場における観察実習方法の理解
- ・児童とのふれあい活動と児童理解
- ・教材・教具の作成と学習指導の実際
- ・各種体験学習と専門性への理解

- 科目：⑦教職リサーチ ⑧教職実践演習



道徳教育の研究

教科となる道徳。「考え議論する道徳」の指導に向け、道徳の持つ特色を理解し、指導する力を身につけます。その力は教科の指導方法の工夫にも活かされるよう力を養います。



小学校教育実習

指導目標を明確にし、教材・教具の吟味等含めた学習の計画を立案し実践する。これまでの「学校体験」を最大限に活かして教育実践力を身につけます。